

10 がつ 4 には「アツシジのせいフランシスコ」のおいよいよにあたるひなので、きょうはいつものふくいんのせつめいのかわりに、フランシスコがどんなせいじんだったのかを、すこしせつめいしたいとおもいます。

むかしイタリアのくにのアツシジというまちにフランシスコというすこくあかるい、せいねんがいました。まちでいちばんのおかねもちの、けおりものしょうにんのピト口とピカふじんのもとにうまれ、なにふじゆうなく、たのしくくらしていました。

フランシスコがおおきくなったころアツシジのまちは、となりのまちとせんそうをはじめました。フランシスコもへいたいになって、いっしょうけんめいたたかいましたが、アツシジのまちはまけてしまいました。フランシスコは、せんそうをみて心がいたくなって、どんなことがあってもせんそうをしてはいけなとけっしんしました。びょうきになって、たかいねつがでて、おきあがることのできないほどの、おもいびょうきになりました。そのとき、ふしぎなこえがきこえました。

「おうちへかえりなさい。そこで、おまえのするべきことをしらせよう」

フランシスコはアツシジにもどると、すぐまえとおなじようにまいにち、おともだちとあそんでばかりいました。しかしあそんでばかりいると、なんだか心がからっぽになっていくようで、これではいけないとおもって、いままできていたりっぱなふくをぬいで、まずしいひとがきているようなふくをきて、まちのなかをあるくようになりました。そのすがたをみて、おともだちにもからかわれるようになりました。そのうえにおとうさんもフランシスコのすがたをみてはずかしくおもい、きょうかいのしきょうさまのところにつれていって、そのすがたをやめるようにたのみました。そのとき、フランシスコはきていたふくをぬいで、もっていたおかねといっしょにおとうさんにさしました。「いままで、わたしはあなたをおとうさんとよんでいました、しかしこれからは、てんのかみさまだけをおとうさんとよびます」

こうしてすべてをなくして、かみとひとびとにほうしようとかたく心にきめました。

サン・ダミアノという小さなきょうかいがさびしいのはらにありました。こわれかけたきょうかいでした。そのまんなかに大きなじゅうじかがありました、フランシスコがそのまえでいのっている、イエスさまのかおが、うごいたようにみえました。

イエスさまが「フランシスコよ、さあ、たつたおれかけているわたしのきょうかいをたてなおしなさい」といわれました。フランシスコはそのきょうかいをたてなおすためにおとうさんのざいさんをつかいました。

フランシスコのいきかたをみて、たくさんひとが、おなじいきかたをしたいとおもって、かれのそばにあつまりました。フランシスコは「小さき きょうだいかい(兄弟会)」をつくりました。

フランシスコは、もりや、くさや、はな、ことりや、さかなやけもの、すべてのうつくしいしぜんをこころからあいしていました。フランシスコがすんでいたグツビオのまちに、ひとくいオオカミがいて、まちの人たちからおそれられていました。「オオカミはきつとひとりぼっちで、さびしく、たよるものがないのだろう」そうおもったフランシスコはでしたちとともに、もりのおくの、オオカミのすみかへでかけていきました。しかし、でしたちはこわがってにげてゆきました。一人になったフランシスコのまえに、オオカミがあらわれて、フランシスコにとびかかろうとしたとき、フランシスコはじゅうじかを切り、オオカミに手をさしのべました。「おまえはいままでわるいことをしていました、どうか、もうかちくや、人をおそわないでおくれ。そのかわり、おまえのいきているあいだ、まちのひとたちがおまえにたべものをくれるようにすると、わたしはやくそくする。さあ、おまえもやくそくしておくれ」するとオオカミがおとなしくなり、そのまえあしをフランシスコの手のひらにのせたのです。こうしてひとびとは、オオカミにおそわれなくなりました。

フランシスコは、たいよう、つき、かぜ、みず、ひ、くうき、だいちをあいしていました。いつもかみさまをさんびをしていました。またびょうきのひとたちのおせわをしていました、くるしむイエスさまをみたようにおもったのです。

フランシスコは、ラ・ウエルナの山でまいにちのいのっていました、イエスさまのじゅうじかのきずあとをもらって、とてもからだがよわくなりましたので、サン・ダミアノのちかくの小やにすむようになりました。フランシスコはしぜんを心からあいしていました。

そのしぜんをつくられたかみさまをほめたたえるために、ひとびとをなくさめ、かみさまのおしえをひろめていきました。フランシスコは、じぶんのいのちがのこりすくないのをかんじ、しめまえにもういちど、アツシジをみたいとおもいました。そののぞみどおりきょうだいたちによってアツシジへはこばれ、なつかしいしょうせいどうのそばのこやにねかされました。そしてフランシスコはつちのうえにねかせてもらい、しずかにいきをひきとりました。そのときにたくさんのひばりがうたいながら、そらたかくまいあがって、てんごくにいくフランシスコをみおくりました。

フランシスコがのこして下さったうた。"たいようのさんか"です。

「いとたかいおかたよ

あなたはほめたたえられますように

あなたのつくられた

すべてのものとともに

きょうだいであるたいようは

おおいなるひかりによって かがやきわたり

しまいであるつきとほしは

よるのそらに

うつしくちりばめられています

わたしのしゅよ

あなたは

ほめたたえられますように

(アツシジのフランシスコより)

女子パウロ会



#### 10月のごミサの時間

	4日	11日	18日	25日
9:00	垂水北・明舞南	塩屋・明舞北	垂水北・明舞南	塩屋・明舞北
11:00	舞子	垂水	舞子	垂水

おしらせ

11月の8日と15日のそれぞれのミサのすぐあとで「七五三」のしゅくふくがあります。かならず来てくださいね。

しんぶさまからのしゅくふくと、きょうかいからのプレゼントがあります。じぶんの地区のミサに来てくださいね。